

新装刊

# デジタル金融をリードする 日経 FinTech

全産業に勝機もたらす！  
新たな戦略誌 & 未来レポート

市場予測データ満載！  
デジタル金融  
未来レポート

業界の最深部に斬り込む！  
月刊ニュース  
レター

生きた情報&交流の場  
セミナー・  
カンファレンス



<https://nkbp.jp/nfts>

日経BP

# デジタル金融に関わる 全方位の情報を一手に

「年鑑」「ニュースレター」「セミナー」に、新たな「デジタルサービス」も追加。最前線の動きをいち早く、詳しくお伝えします。

## 予測データ満載

市場予測やキープレイヤーの動向、技術・法律のトレンドを網羅した年鑑

## デジタル金融 未来レポート

デジタル金融を巡る独自の市場予測調査や業界トレンド、約100社のキープレイヤーの動向、関連技術や法規制を徹底解説。これ1冊でデジタル金融の全てが分かります。

- 2020年4月発行(予定)
- 専用バインダー方式・A4変型判 約500ページ(予定)



## 事象の裏側を見抜く

一歩先のトレンドを深く知り  
ビジネスに生かす

## 月刊ニュース レター

毎号、専門媒体だからこそ扱える業界の最深部に踏み込んだ特集やニュースの解説、話題のキーパーソンインタビューを掲載。時々刻々と変化するデジタル金融の最前線をキャッチアップできます。

- 毎月28日発行・年12冊
- A4変型判、約20ページ(予定)



## NEW

動きの速い業界動向をカバー!  
資料作成に役立つ新サービスも追加

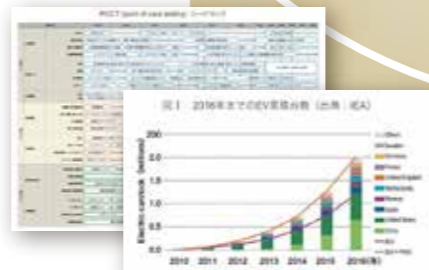
## デジタル サービス

FinTech業界のニュースを随時配信するほか、カンファレンス/セミナーの動画も視聴できる「読者限定WEBサイト」に加え、「デジタル金融未来レポート」を検索・閲覧できる新サービスも提供。資料作成にも役立ちます。

※「デジタル金融未来レポート」のデジタルサービスは4月中旬開始予定です。



「読者限定WEBサイト」



「デジタル金融未来レポート」のデジタルサービス(イメージ)

## 大好評

豪華な講師陣が  
多彩なテーマで本音を語る

## セミナー& カンファレンス

第一線で活躍するキーパーソンが一堂に会し、多岐にわたるテーマを議論する「Nikkei FinTech Conference」や、旬な話題に絞って専門家が詳しく解説するセミナーを開催。ここでしか得られない情報をお届けします。

- 読者無料
- 年4回以上、随時開催(予定)



# 本気になった新規参入組。 デジタル金融、止まらぬ越境

金融の主役は金融機関。こうした常識は過去のものだ。  
デジタル金融が持つ強大なビジネスパワーを手にしようと、  
金融機関と新規参入組が入り乱れてのサービス競争が過熱している。  
業種・業態は関係ない。あらゆる企業にチャンスは開け放たれている。

垣根を越えた協業が、金融の未来を変える

## 三井住友、コマツとタッグ

中小企業を対象とした新たな金融サービス会社を合併で設立。コマツが保有するIoTデータ活用も視野に入れる。

金融機関自身がデジタル化に打って出る

## ふくおかFG、デジタル銀行設立へ

2020年度にも、若者層を主要ターゲットにしたデジタル専門銀行を設立。  
ユーザー体験を重視し、銀行の再定義に挑む。

金融機関による越境も加速。境界は消滅へ

## SOMPO、データ解析事業に進出

ピーター・ティール氏が率いる米パラソティアと新会社を設立。保険会社の枠を越え、公共機関や企業にデータ解析サービスを提供。

「スーパーアプリ」が金融を支配する

## ヤフーとLINEが経営統合

巨大な顧客基盤を抱える大手ネット企業が手を組んだ。金融を含め、日常生活の全てをカバーする存在を狙う。中国や東南アジアで台頭する「スーパーアプリ」がいよいよ日本でも誕生する。

巨大製造業も金融取り込みで本業強化へ

## トヨタ、スマホ決済に参入

製造業の雄もスマホ決済に名乗りを挙げた。MaaS時代に欠かせないピースとして新たな決済手段の取り込みを図る。

新規参入組に立ちはだかる“安全性”の壁

## 「7pay」、2カ月で終了

セブン&アイが肝煎りで送り出した「7pay」が不正アクセスを受け、短期間でサービスを終えた。

独自通貨で地域経済を再興、にぎわい創出狙う

## 東京都、デジタル地域通貨に関心

東京都が「東京ユアコイン」という独自ポイントを試験運用。将来的に、デジタル通貨の発行も視野に入れており、地方では既に数々の取り組みが進む。海外では米フェイスブックの「Libra」など、法定通貨の枠を超えた存在も誕生しようとしている。

全ての産業を  
飲み込み始めた  
デジタル金融

# 金融機関

# 新規参入

# キャッシュレスは序章。 デジタル金融のうねりが 全産業を覆い尽くす



日経FinTech編集長  
岡部 一詩

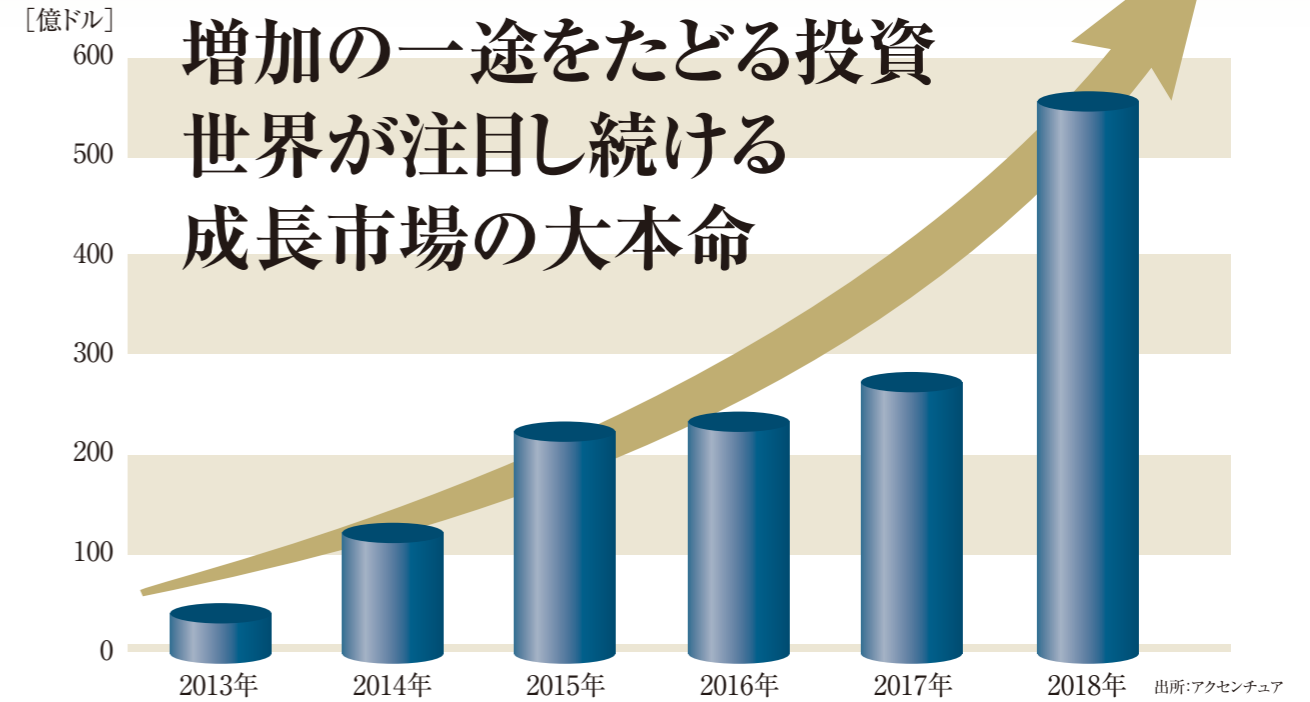
デジタルの洪水が金融の世界に押し寄せて約5年。金融業界の内外を隔ててきた壁は、いよいよ本格的に崩れ始めました。瞬間に国を挙げたムーブメントになったキャッシュレスは象徴的です。決済と言えば銀行の本丸。ところがキャッシュレスブームをけん引したのは、銀行をはじめとした金融機関ではなく、異業種の大手プレーヤーたちでした。

キャッシュレスは“特別な現象”ではありません。新興のデジタル専門銀行や証券会社が、様々な業種のプレーヤーに金融サービスを手掛けるための仕組みをホワイトラベルで提供する「ネオバンク」の動きも胎動しています。製造、小売、運送といった業種の違い、あるいは大手企業や中小企業といった企業規模の違いにかかわらず、多岐にわたる事業者が自分たちのサービス戦略の一環として金融事業を手掛けられる時代が目の前に迫っています。

2019年、デジタル金融の主役が必ずしも金融機関ではないことが白日の下にさらされました。2020年はあらゆる産業で、金融という新しいサービスの種をいかに活用するかを模索する年になります。もちろん金融機関も手をこまぬいてみているわけにはいきません。業種の枠を越えた競争と共創が、これまでを遙かに凌ぐスピードとスケールで繰り広げられます。

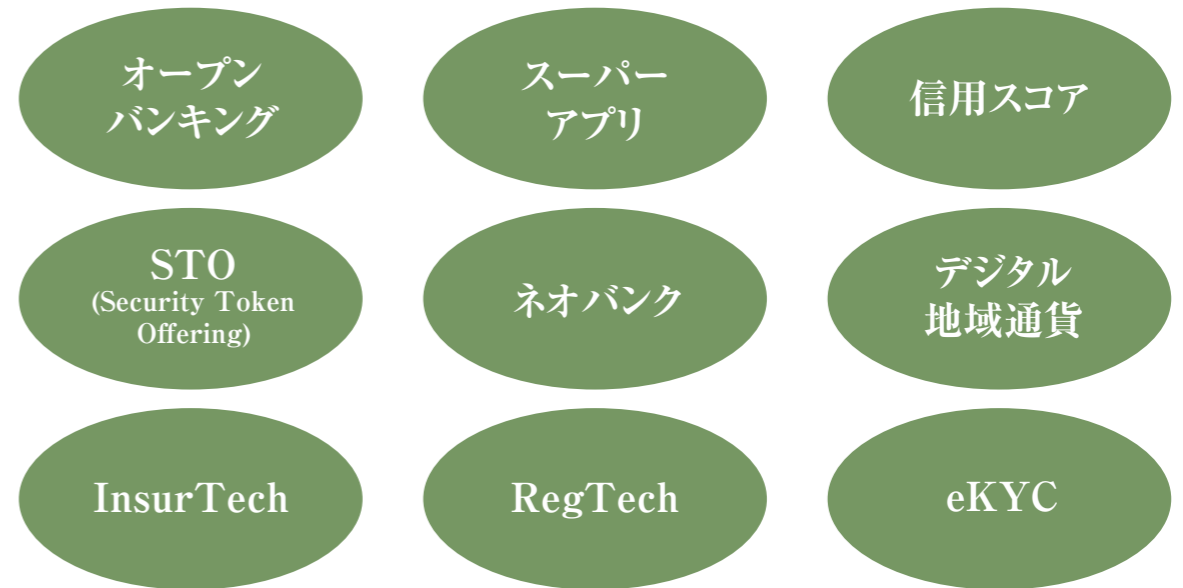
2016年3月に創刊した日経FinTechは、金融の世界で起こる変革を最前線で取材、発信し続けてきました。激しく移り変わる業界においては、大局を展望する視座と目の前で起きる事象の裏側を見抜く視力の両方が必要です。「デジタル金融未来レポート」、「月刊ニューズレター」、「セミナー&カンファレンス」を通して、読者の皆さまに確かな指針を提供します。

■グローバルFinTech投資の推移



## 増加の一途をたどる投資 世界が注目し続ける 成長市場の大本命

## 2020年に到来する9つのメガトレンド

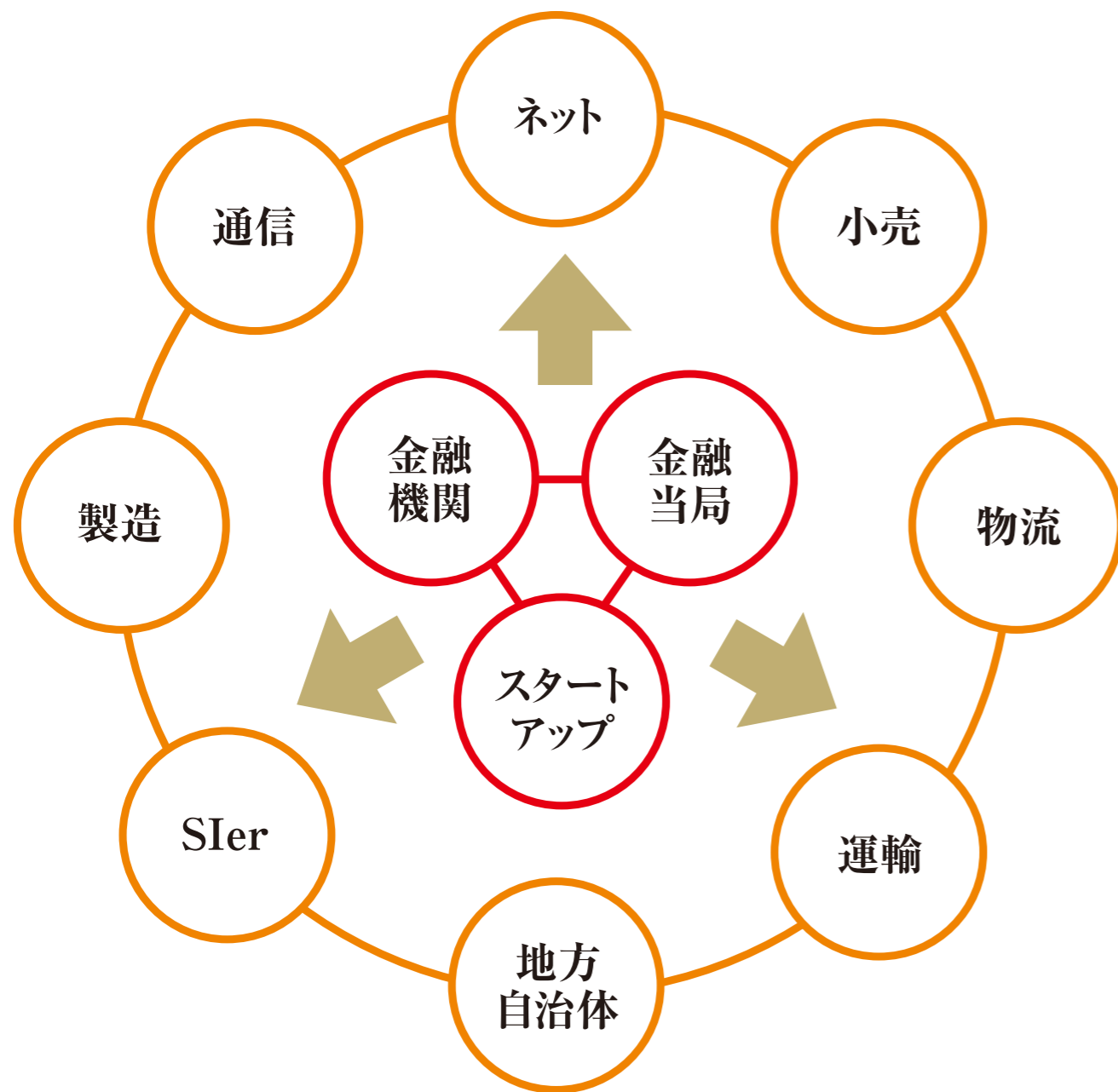


2020年は注目テーマが目白押し!  
日経FinTechは、常に最先端を追いかけます。

# 膨脹を続けるエコシステム 日経FinTechは全産業を網羅

## 姿を変えるエコシステム あらゆる産業が人ごとにあらず

日本のFinTechが産声をあげた2015年、エコシステムの構成要素は金融機関、金融当局、FinTechスタートアップが主体でした。ところが昨今、エコシステムの姿は大きく変容しています。日経FinTechは膨脹するエコシステムをリードし、デジタル金融の健全な発展を支えます。



## ▼日経FinTechが提供する3つの価値

変わりゆく規制環境、日進月歩の技術、過去にないビジネスモデル。次々と新たな動きが起こるデジタル金融の世界を読み解くため、「日経FinTech」は様々な形で必要な情報をお届けします。

### 1 データ 新産業で不足しがちなデータを独自に調査し、意思決定を支援

#### デジタル金融未来レポート

多岐にわたる市場予測や各種データを独自に調査。貴社の戦略策定や意思決定をサポートします。さらに、約100社に上る金融・非金融プレーヤーの取り組みやテクノロジーの動向、最新の金融法制もたつぷりと網羅。デジタル金融の全貌を1冊で把握できます。今年度から、手元に置けるバインダー版に加えて、デジタルサービスも利用できるようにしました。オンラインでの情報収集・分析や記事ダウンロードも可能で、様々なシーンでご活用いただけます。



### 2 インサイト 専門誌ならではのテーマ設定とオピニオンで新たな気づきを

#### 月刊ニューズレター

毎号、一歩先をいくテーマの特集記事を掲載。日経FinTechでしか読めない奥深い情報と独自の視点をお届けします。さらに、日々もたらされる新たなニュースや企業動向の解説、キーパーソンの本音、様々なデータを基にしたトレンド展望をお読みいただけます。



### 3 ネットワーク デジタル金融を構成するエコシステムとの出会いを提供

#### セミナー&カンファレンス

デジタル金融に関わるフロントランナーを一堂に招き、様々な角度からトレンドや課題を浮き彫りにする「Nikkei FinTech Conference」や、旬なテーマの第一人者による動向解説や質疑応答の時間を設けたインタラクティブなセミナーを随時開催。メディア情報だけでは把握し切れない生きた最新情報に触れられるとともに、新たな出会いの場としてご活用いただけます。



# デジタル金融未来レポート

デジタル金融に関するデータや情報を満載した  
500ページの大事典



## 第1章 市場調査

FinTechに関する各分野について、今後5年間の市場を予測しました。さらに、地方銀行のデジタル投資動向について調査を実施するなど、多様な情報やデータから、日本のデジタル金融に関する現状と将来を浮き彫りにします。貴社における事業計画やビジネス戦略の立案にご活用ください。

- 国内のFinTech市場
- 世界のFinTech市場
- PFMの市場規模予測
- クラウド会計の市場規模
- スマホ決済の市場規模
- 法人向けオンライン融資の市場規模
- ロボ・アドバイザーの市場規模

- クラウドファンディングの市場規模
- スーパーアプリの市場予測
- BaaSの市場予測
- 地域電子通貨の市場予測
- 情報銀行の市場予測
- 地方銀行のデジタル投資調査
- 銀行アプリのユーザビリティ調査

## 第2章 主要トレンド

STO  
Libra  
FATF  
eKYC  
RegTech/SupTech  
PropTech(不動産テック)  
ペイロール  
リスクテック

琉球銀行  
沖縄銀行  
富山第一銀行  
【信用金庫・信用組合】  
京都信用金庫  
飛騨信用組合  
君津信用組合  
【インターネット銀行】  
SBIホールディングス  
楽天グループ  
GMOインターネットグループ  
ソニー銀行  
ジャパンネット銀行  
auじぶん銀行  
【その他の銀行】  
セブン銀行  
イオンフィナンシャルサービス  
新生銀行グループ  
【証券会社】  
日本取引所グループ  
野村ホールディングス  
大和証券グループ本社  
SMBCH日興証券  
東海東京フィナンシャル・ホールディングス  
マネックスグループ  
松井証券  
auカブコム証券  
【保険会社】  
東京海上ホールディングス  
SOMPOホールディングス  
あいおいニッセイ同和損害保険

三井住友海上火災保険  
日本生命保険  
第一生命ホールディングス  
住友生命保険  
明治安田生命保険  
【カード会社】  
三井住友カード  
三菱UFJニコス  
クレディセゾン  
オリエン特コーポレーション  
ビザ・ワールドワイド・ジャパン  
Mastercard  
ジェーシービー  
【通信事業者】  
NTTドコモ  
KDDI  
ソフトバンクグループ  
NTTコミュニケーションズ  
日本通信  
【ITベンダー】  
NTTデータ  
日本IBM  
富士通  
日立製作所  
NEC  
野村総合研究所  
TIS  
日本ユニシス  
電通国際情報サービス  
日本マイクロソフト  
TKC

## 第3章 企業動向

【メガバンク】  
三菱UFJフィナンシャル・グループ  
三井住友フィナンシャルグループ  
みずほフィナンシャルグループ  
りそなホールディングス  
ゆうちょ銀行  
【地方銀行】  
ふくおかフィナンシャルグループ  
千葉銀行  
山口フィナンシャルグループ  
北洋銀行  
西日本シティ銀行  
広島銀行  
京都銀行  
群馬銀行  
大垣共立銀行  
鹿児島銀行  
北國銀行  
岩手銀行

### 【ネット事業者】

リクルートグループ  
LINE  
メルカリグループ  
【一般事業者】  
トヨタ自動車  
東芝  
コマツ  
日本郵船  
ファミリーマート  
H.I.F.  
オリックス  
クオカード

### 【FinTech企業】

(10社)

ブロックチェーンの課題  
コンセンサス・アルゴリズム  
Ethereum  
Hyperledger Fabric  
Hyperledgerいろは  
Corda  
De-Fi  
仮想通貨の基礎  
ビットコイン次世代技術  
ICOトークン発行技術(ERC20)  
FIDO認証  
サイバーセキュリティ  
自己主権型アイデンティティ  
日本銀行金融ネットワークシステム(日銀ネット)  
全国銀行データ通信システム(全銀システム)  
SWIFT  
決済ネットワーク  
情報銀行  
RPA  
HFT(高頻度取引)  
説明できるAI

## 第5章 行政方針と法規制

金融庁  
経済産業省

内閣府、その他省庁  
資金決済法(電子マネー)  
割賦販売法(決済)  
資金決済法(送金)  
資金決済法(暗号資産)  
貸金業法(融資)  
利息制限法、出資法  
金融商品取引法(クラウドファンディング)  
金融商品取引法(ロボ・アドバイザー)  
金融商品取引法(暗号資産)  
保険業法  
銀行法(銀行代理業、出資規制など)  
銀行法(電子決済等代行業者)  
犯罪収益移転防止法  
外為法  
国外送金等調査法  
個人情報保護法  
マイナンバー法  
電子帳簿保存法  
公的個人認証法  
電子署名法  
金融商品販売法  
特定商取引法

NEW

## デジタルサービスもご利用いただけます

「デジタル金融未来レポート」から、必要なデータをオンラインで検索・閲覧。  
読むのに便利だけでなく、企画書や資料を短時間で作るための新機能を提供します。

### 入力した検索キーワードの「関連キーワード」「関連企業」が分かる

日経BP独自の機械学習エンジンで、入力した検索ワードに関連する「キーワード」や「企業」の検索結果を表示します。



(イメージ)

### 図表の解説文を分析 図表だけを探せる

入力したキーワードと関連する図表をサムネイルで一覧表示。図表をクリックして拡大表示、詳細情報にアクセスできます。



(イメージ)

### 「テキスト検索」「レポート閲覧」もすぐできる

入力したキーワードと関連するテキスト情報を瞬時に検索し、一覧表示。また、書籍と同じように目次に沿ってレポート閲覧ができます。



(イメージ)

### 出典や説明文も一緒にボタン一つでパワポに出力

検索したテキスト情報や図表などレポートのコンテンツは、ボタンをクリックするだけでパワーポイント形式でダウンロードできます。



(イメージ)

※「デジタル金融未来レポート」のデジタルサービスは4月中旬開始予定です。  
※商品のデザインや内容等は変更になる場合があります。予めご了承ください。

# 尖ったテーマをとことん深掘り 月刊ニューズレター

総力  
企画

## 3号連続デジタル金融特集!

金融機関と新規参入組がこぞって力を入れるデジタル金融。あらゆる産業が無縁ではない注目すべき3つのテーマについて総力特集をお届けします。ご期待ください。

4月号	ネオバンクの幕開け	銀行業に参入する事業会社が急増している。「ネオバンク」とも呼ばれる新興勢力は本当に存在感を示せるか。全貌を明らかにする。
5月号	スーパーアプリの脅威	アジアを席巻する「スーパーアプリ」が日本でも脚光を浴び始めた。スーパーアプリが金融の在り方をいかに変えるかを徹底解剖する。
6月号	STOの地鳴り	法改正で解禁されるSTO(Security Token Offering)への注目が高まっている。いかなるチャンスが眠っているのか。最新の事情を追う。

毎号充実のコンテンツ! これまでにお届けした特集の概要を一部ご紹介します。



キャッシュレスブームの裏側に潜むスマホ決済事業者と一部銀行間の対立構造に切り込む  
銀行口座以外への給与支払いを可能にする「ペイロール」の最新状況と展望を詳細に解説  
エンジニア需要が急激に高まる金融業界だが、決して求心力は高くない。人材採用・育成の実態をレポート  
AI(人工知能)を活用した融資サービスへの参入者が増えるなか、軌道に乗るための課題をあぶり出す  
マネーロンダリング対策などの国際審査機関FATFによる日本審査を前に、マネロン対策のポイントを分析する



米フェイスブックのデジタル通貨構想「Libra」を巡る動向から、仮想通貨の行方と規制当局に課された課題を読み解く  
オンライン上で本人確認を完結するeKYCの活用事例や規制上のポイントを詳しく検証する  
大規模キャンペーンや政府支援によってブームになったキャッシュレス。QRコード統一や口座チャージを巡る問題点を踏み込む  
地方自治体や地域金融機関を中心に盛り上がりを見せるデジタル地域通貨の実態に迫る  
高齢者の金融資産が増加の一途をたどるなか、注目される「金融ジェロントロジー(老年学)」の取り組みを追う

# キーパーソンが集う セミナー&カンファレンス

双方向のコミュニケーションで理解が一気に深まる!

### ●2020年に開催予定のセミナーテーマ

- Nikkei FinTech Conference 2020
- 「FinTech市場予測」セミナー
- 「ネオバンクの未来展望」セミナー
- 「最新金融法制徹底解説」セミナー
- 「金融ジェロントロジー」セミナー



読者から高い評価! これまでで開催したセミナーを一部ご紹介します。

### ●Nikkei FinTech Conference 2019

講演タイトル	登壇者
デジタル時代における金融規制の未来	金融庁 総合政策局総合政策課フィンテック室 室長 三輪 純平 氏
巨大銀行が明かすデジタル変革「次の一手」	三菱UFJ銀行 執行役員 デジタル企画部長 兼 経営企画部長 大澤 正和 氏 ゆうちょ銀行 経営企画部 担当部長 表 邦彦 氏
非金融プレーヤーが描く新たな金融エコシステム	auフィナンシャルホールディングス 執行役員 最高デジタル責任者 兼 Fintech企画部長 藤井 達人 氏 LINE Financial 代表取締役社長CEO 齊藤 哲彦 氏
キャッシュレスの推進について	経済産業省 商務・サービスグループ キャッシュレス推進室長 伊藤 政道 氏
金融関係者が押さえておきたいAI倫理	慶應義塾大学法科大学院 教授 山本 龍彦 氏
Banking-as-a-Service platform for contextual finances	独solarisBank Head of Strategy, Strategy and CEO Department Jacky Kiswanto 氏
Nikkei FinTech Startups Awards 2019	スタートアップ企業7社による先端サービス、技術、製品のピッチバトル

※2019年6月26日開催。所属、肩書等は登壇当時のものです。

### ●Exclusive Seminar

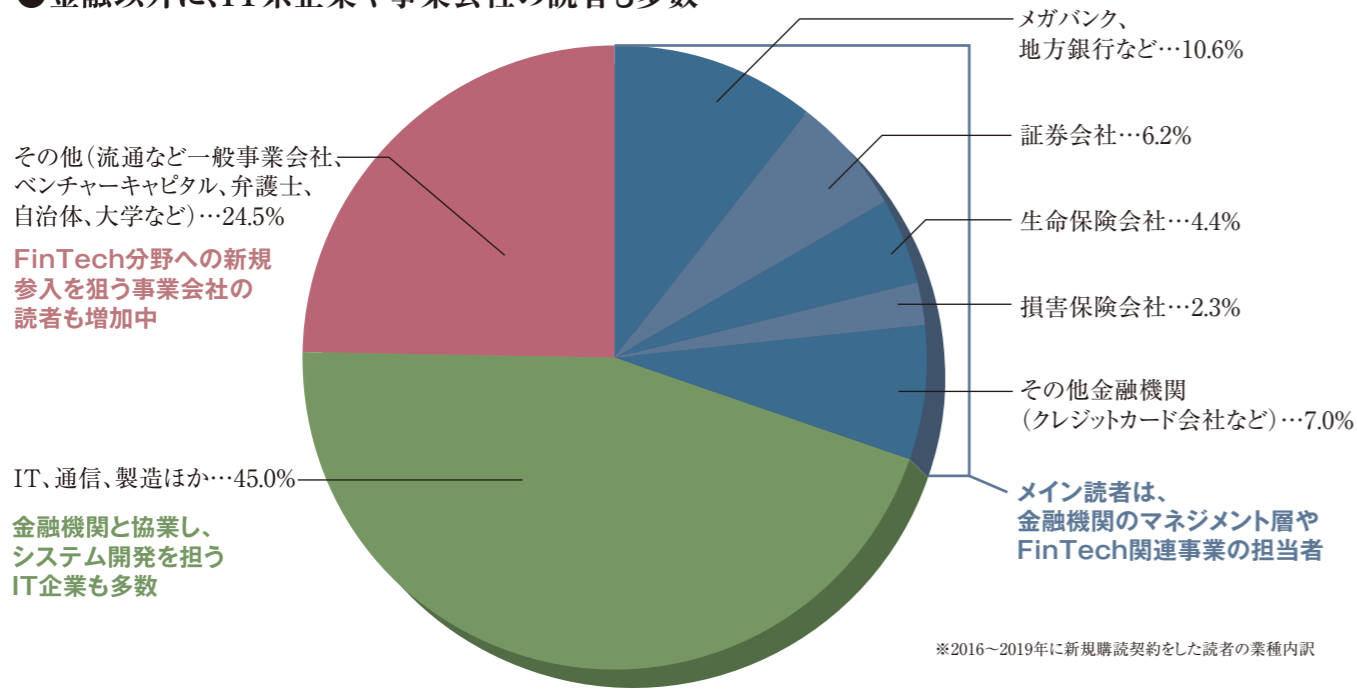
- 銀行法改正を徹底解説～銀行とIT企業に生まれるチャンスとは?
- 米Boxのアロン・レヴィCEOが語る「金融機関とクラウド」
- 世界中の金融機関を魅了するイスラエルFinTech
- 金融×AIが起こすインパクトの真実
- 中国のFinTechで何が起きているのか
- メガバンク×銀行API～現状の取り組みと展望を徹底解説
- ブロックチェーン技術俯瞰、ビットコインの分裂騒動を学ぶ
- 金融機関のためのUI/UX講座 Google Venturesが採用する「デザインスプリント」とは
- 2年連続銀行法改正を徹底解説 銀行のオープンAPI提供がもたらすインパクト
- Ripple Solutionの全貌～銀行間決済はどう変わるのか
- 注目を集めるICO、仕組みと影響を徹底解説
- 地銀アンケート調査から読み解くAPI公開の課題と展望
- 勘定系も担うクラウドサービス 金融業界はどう向き合うべきか
- 最新調査からひもとく世界のFinTech投資動向  
～数字でひもとく台頭するアジアの現状、日本の実力値～
- 飛騨信用組合「さるぼほコイン」は地域に何をたらしたか
- 日本版サンドボックスの全貌
- データが浮き彫りにする仮想通貨の真実

※商品のデザインや内容等は変更になる場合があります。予めご了承ください。

# 金融はもちろん、他業種の読者も高く評価

## 読者プロフィール

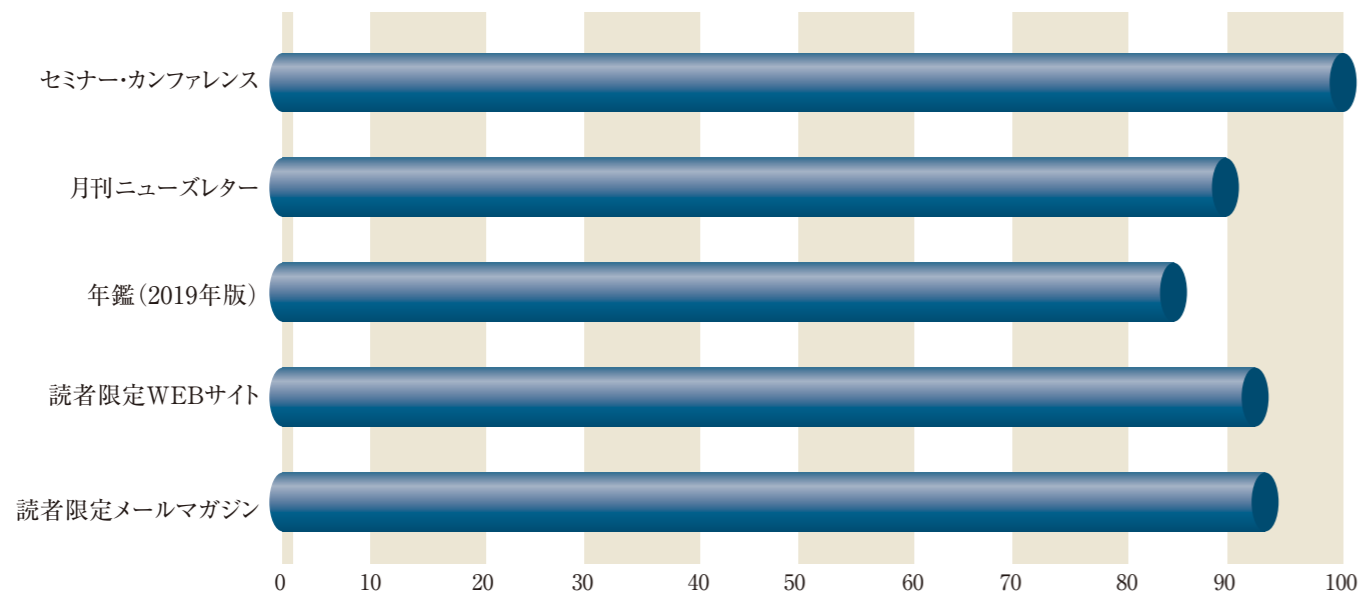
●金融以外に、IT系企業や事業会社の読者も多数



## 読者評価

### 各サービスの満足度

セミナー・カンファレンスは100%  
その他のサービスもすべて高評価



※2019年2月に全読者を対象にしたアンケート調査から

# 情報収集から他社との交流まで、様々な活用事例が

## 読者の声

●官公庁、金融、IT系企業など、様々な業種の皆様の声をご紹介します。

### 月刊ニューズレターの内容が深い 役員や顧客にも共有

#### 投資銀行

必ず読むようにしているのが月刊ニューズレターです。他の雑誌に比べてとにかく深い内容が載っており、役員や顧客によく共有します。単なる情報だけでなくオピニオンを打ち出している点も参考になるし、気に入っています。

### 有望スタートアップを発掘 記事を読んですぐにコンタクト

#### 大手銀行

月刊ニューズレターに毎号掲載されているスタートアップ企業のコラムを有効活用しています。協業できそうな企業を見つけ、すぐにコンタクトを取ったこともあります。事業内容や今後の戦略がしっかりと書かれているのが良いですね。

### 年鑑の情報量が圧倒的 他部署からの問い合わせでも活躍

#### 大手小売企業

「年鑑」の情報量が圧倒的に多いので、すぐに手に取って調べ物ができるようにしています。様々な情報が網羅されているので、FinTechに関する他部署からの問い合わせ対応にも役立っています。

### 珍しいワークショップ型講座 事業化の難しさを改めて知る

#### 通信事業会社

ブロックチェーンを活用した事業化アイデアを議論して発表するというワークショップ型講座が珍しくて新鮮でした。事前に設定されたポイントに沿って考えてみると、改めて事業化の難しさやブロックチェーンの特徴に気付きました。

### スタートアップピッチに驚嘆 カンファレンスは貴重な出会いの場

#### 大手カード会社

カンファレンスで開催されるスタートアップ企業によるピッチバトルのレベルの高さに驚きました。FinTech関連の部署にいるので情報収集はしているのですが、あれだけの企業をどうやって集めているのか不思議。貴重な出会いの場になっています。

### 業界の裏側がしっかり分かる 替えのきかない媒体

#### 官公庁

月刊ニューズレターには、一般には知られていない業界の裏側が詳しく書かれていることがあるので、いち早く実態を把握するのに重宝しています。冊子が届くと、どんな情報が載っているか真っ先に目を通します。

### かゆい所に手が届くコンテンツ 新規市場の理解に一役

#### 大手ネット企業

新規市場への参入を検討していたときのこと。タイミング良く、その市場の特集が組まれていました。今まで知らなかったけど手に入らなかった情報が網羅的に掲載されていて、まさにかゆい所に手が届く内容。一気に理解が進み、同僚にも勧めました。

### 講師陣が豪華 連続セミナーで体系的に学べる

#### コンサルティング会社

ブロックチェーンをテーマに5回にわたる連続セミナーという形が、体系的に学べて良かったです。講師陣も豪華で、これまで疑問に思っていたことが理解できたとともに、最新トレンドをキャッチアップする良い機会になりました。